

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
長岡京阪急新駅駅前PJ

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 201
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40					3.1
1 音環境			3.6	0.15	3.7	1.00		3.6
1.1 騒音			3.0	0.46	3.5	0.47		
1	室内騒音レベル		3.0	1.00	4.0	0.50		
2	設備騒音対策		-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音			4.4	0.46	4.0	0.47		
1	開口部遮音性能	南面に高架高速道路隣接により交通量増加予測の為、遮音サツ	5.0	0.81	5.0	0.30		
2	界壁遮音性能		2.0	0.19	3.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	4.0	0.20		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	4.0	0.20		
1.3 吸音			3.0	0.09	3.0	0.06		
2 温熱環境			2.9	0.35	3.0	1.00		2.9
2.1 室温制御			2.8	0.50	3.0	0.50		
1	室温		3.0	0.54	3.0	0.61		
2	負荷変動・追従制御性		-	-	-	-		
3	外皮性能		3.0	0.31	3.0	0.39		
4	ゾーン別制御性		2.0	0.15	-	-		
5	温度・湿度制御		-	-	-	-		
6	個別制御		-	-	-	-		
7	時間外空調に対する配慮		-	-	-	-		
8	監視システム		-	-	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境			3.0	0.25	3.1	1.00		3.0
3.1 昼光利用			3.0	0.49	3.4	0.40		
1	昼光率		3.0	0.51	3.0	0.53		
2	方位別開口		-	-	5.0	0.22		
3	昼光利用設備		3.0	0.49	3.0	0.26		
3.2 グレア対策			3.0	0.34	3.0	0.40		
1	照明器具のグレア		-	-	-	-		
2	昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00		
3	映り込み対策		-	-	-	-		
3.3 照度			3.0	0.17	3.0	0.20		
3.4 照明制御			-	-	-	-		
4 空気質環境			3.0	0.25	3.0	1.00		3.0
4.1 発生源対策			3.0	0.61	3.0	0.63		
1	化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00		
2	アスベスト対策		-	-	-	-		
3	ダニ・カビ等		-	-	-	-		
4	レジオネラ対策		-	-	-	-		
4.2 換気			3.0	0.39	3.0	0.38		
1	換気量		3.0	0.49	3.0	0.33		
2	自然換気性能		3.0	0.02	3.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.49	3.0	0.33		
4	給気計画		-	-	-	-		
4.3 運用管理			-	-	-	-		
1	CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2	喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-		3.0
1 機能性			3.0	0.40	3.2	1.00		3.0
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60		
1	広さ・収納性		3.0	0.02	3.0	0.28		
2	高度情報通信設備対応		3.0	0.02	3.0	0.72		
3	バリアフリー計画		3.0	0.96	-	-		
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	3.5	0.40		
1	広さ感・景観		3.0	0.09	4.0	0.50		
2	リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3	内装計画		3.0	0.91	3.0	0.50		
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-		
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
3	衛生管理業務		-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			3.3	0.31	-	-		3.3
2.1 耐震・免震			3.0	0.48	-	-		
1	耐震性		3.0	0.80	-	-		
2	免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.8	0.33	-	-		
1	躯体材料の耐用年数	品確法に基づく等級2を確保の努力をする。(寿命として60年以上	4.0	0.23	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼り、メタルテンホールを多用し仕上の劣化、更新時期の延伸を	5.0	0.23	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水管の材料(VP関連等)及び継手を使用し劣化、更新の延伸	5.0	0.15	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-		

2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型便器の使用。	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.5	0.29	3.0	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			3.0	0.13	3.0	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.13	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.3	0.73	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		敷地内緑化の充実。建物外観、形態色彩の調和を図る。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.36	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電パネルの設置	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		照明器具のLED使用による高効率化を図る。	3.2	0.36	-	-	3.2
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		#VALUE!	5.0		-	-	
集合住宅の評価			3.2		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.09	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.09	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.26	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	外構舗装用ブロック(再生品)、住戸内内装材壁紙	4.0	0.26	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.07	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	解体時における仕上材、躯体及び設備が各分別出来るよう配慮し	5.0	0.32	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	接着剤、塗料、仕上材等に対して有害物質の含有を全て排除す	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		3.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		建物への熱負荷の抑制。省エネ対策の拡充を図る。	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	